US CMA

External Financial Reporting Decisions

財務報告テキスト Ver.8.0

TAC 米国公認管理会計士（USCMA）講座

TAC

US CMA

External Financial Reporting Decisions

Textbook

Contents

1. Financial Statements（財務諸表） …… 1

1. Financial Statements（財務諸表） …… 2

2. Inventories（棚卸資産） …… 17

1. Invento y の範囲 …… 18
2. Invento y の処理プロセス …… 19
3. O iginal Cost（取得原価）の決定 …… 20
4. O iginal Cost の修正 …… 21
5. Pe io ic Invento y System an Pe petual Invento y System
（棚卸計算法と継続記録法） …… 23
6. 払出単価の計算方法 …… 24
7. Lowe of Cost o Ma ket an Lowe of Cost an Net ealizable Value
（低価法） …… 38
8. Title の移転時期 …… 42

3. Property, Plant, and Equipment（有形固定資産） …… 47

1. Cha acte istics of P ope ty, Plant, an Equipment
（有形固定資産の特徴） …… 48
2. O iginal Cost（取得原価）の決定 …… 49
3. ep eciation（減価償却） …… 52
4. Capital Expen itu es an evenue Expen itu es
（資本的支出と収益的支出） …… 68
5. isposal of PP&E（固定資産の処分） …… 70

6. IF S における有形固定資産の評価 74

4. Monetary Assets（貨幣性資産） 79
1. ecognition of Accounts eceivable（売掛金の認識） 80
2. 決算時の会計処理と Accounts eceivable の評価 81
3. Sales の修正 88
4. T ansfe of eceivables（債権の譲渡） 91

5. Liabilities（負債） 95
1. Classification of Liabilities（負債の分類） 96
2. Contingencies（偶発事象） 98

6. Stockholders Equity（株主持分） 105
1. Components of Stockhol e s' Equity（資本の構成要素） 106
2. 株式に関する基礎知識と Pai -in Capital（払込資本） 108
3. etaine Ea nings（利益剰余金） 110
4. ivi en s（配当） 113
5. Stock Splits（株式分割） 130

7. Financial Statements（2）（財務諸表） 135
1. iscontinue ope ations（非継続事業） 136
2. Comp ehensive Income（包括利益） 142
3. Notes（注記） 146

8. Present Value（現在価値） 149
1. P esent Value の考え方① 154
2. P esent Value の考え方② 160

9. Corporate Bonds（社債） 163
1. Bon s（社債）の発行形態 164

2. Amo tization of Bon iscount / P emium（償却） ····· 168

10.Investment（投資） ····· 177

1. Secu ities の分類と会計処理の基礎 ····· 178
2. 決算時の会計処理 ····· 180
3. Impai ment of ebt secu ities（負債証券の減損） ····· 192

11. Leases（リース） ····· 199

1. C ite ia fo Classifying Leases（リース取引の分類基準） ····· 200
2. Finance Lease（借手側の会計処理－実質が売買の場合） ····· 204
3. Ope ating Lease（借手側の会計処理－実質が賃貸借の場合） ····· 210
4. 関連論点（借手側の会計処理） ····· 213
5. Sales-Type Lease an i ect Finance Lease
（貸手側の会計処理－実質が売買の場合） ····· 214
6. Ope ating Lease（貸手側の会計処理－賃貸借の場合） ····· 218

12. Non-Monetary Assets
（非貨幣性資産） ····· 221

1. Impai ment of Value（資産価値の減損） ····· 222
2. Intangible Assets（無形資産）とは ····· 228
3. IF S における Intangible Asset（無形資産）の会計処理 ····· 229
4. Legal ights（法律上の権利） ····· 231
5. Goo will（のれん） ····· 232
6. esea ch an evelopment Costs（研究開発費） ····· 236

13. Revenue Recognition（収益の認識） ····· 241

1. evenue ecognition（収益認識） ····· 242

14. Interperiod Tax Allocation（税効果会計） ····· 255

1. Inte pe io Tax Allocation（税効果会計）の適用 ····· 256

2. efe e Tax Assets と efe e Tax Liabilities ····· 262

15. Statement of Cash Flows（キャッシュ・フロー計算書） ····· 273

1. Statement of Cash Flows（キャッシュフロー計算書） ····· 276
2. Classification（分類） ····· 278
3. Cash Flows F om Ope ating Activities の作成・表示方法 ····· 281

16. Consolidated Financial Statements ····· 293

1. Int o uction to Consoli ations ····· 294
2. Consoli ation Mo els （連結のモデル）） ····· 295
3. Metho s to Account fo Consoli ations （連結会計の方法） ····· 302
4. Inte company T ansactions ····· 306
5. Invento y に係る Un ealize P ofit の消去 ····· 311

1. Financial Statements (財務諸表)

Objectives 本章では、Financial Statements（財務諸表）の種類や形式について確認をしていきます。

Key Topics

1. Financial Statements（財務諸表）

1.Financial Statements（財務諸表）

企業は日々の取引を記録、分類、集計していき、最終的には一定期間ごとに stakehol e s（利害関係者）への報告書を作成することになる。この報告書のことを、financial statements（**財務諸表**）と呼ぶ。

ここでは代表的な financial statement である、

- Income statement（I/S、**損益計算書**）
- Balance sheet（B/S、**貸借対照表**）

の概要をみていくことにする。

(1) Income statement（損益計算書）

Income statement は、簡単にいえば、一定期間における企業の儲けを示すものである。

具体的には、企業活動の成果である evenues（**収益**）から、成果を獲得するための犠牲である expenses（**費用**）を差し引いて、儲けである net income（**当期純利益**）を示す形式で作成される。なお、 evenue よりも expense の方が大きい場合、net income がマイナスになるが、これを net loss（当期純損失）という。

このように、成果からそれを獲得するために犠牲になった分を控除して儲けを示すことで、financial statements の利用者は企業の p ofitability（収益性）を把握することができることになる。

なお、income statement は企業の儲けを示すものであると述べたが、これを会計用語では企業の ope ating esults（**経営成績**）を示す、という。

Income statement

Expenses（努　力）	evenues（成　果）
Net income（もうけ）	

(2) Income statement に記載される項目

① evenues（収益）

evenues とは、商品の販売、サービスの提供その他の事業活動によって獲得した成果をいう。 evenues は stockhol e s equity（資本、純資産）を増加させることになる。

（例） Sales（売上）
ent evenue（受取賃貸料）
Inte est income（受取利息）

② Expenses（費用）

Expenses とは、 evenues の獲得を目的として、商品の販売、サービスの提供その他の事業活動を行うために費消された努力または犠牲をいう。Expenses は stockhol e s equity を減少させることになる。

（例） Cost of goo s sol （売上原価：販売した商品・製品の原価）
ent expense（支払賃借料）
Sala ies expense（wages expense、給料、賃金）
Inte est expense（支払利息）

なお、 evenues から expenses を差し引いて net income が生じれば、それは企業の正味の財産が増加したといえる。よって、一定期間に net income が生じれば、それだけ stockhol e s equity が増加することになる。

Income statement の表示形式には次の２つがある。

① Single-step income statement（無区分式損益計算書）

Single-step income statement においては、 evenues を列挙して total evenues を求め、expenses を列挙して total expenses を求め、その上で、両者の差額として net income（income f om continuing ope ations（継続事業利益））を求める。このため、活動の種類ごとの income は表示されないことになる。

TAC Company（TAC 株式会社）
Income Statement（損益計算書）
For the Year Ended December 31, 20X1 (in thousands)
（自 20X1 年 1 月 1 日 至 20X1 年 12 月 31 日）

Revenues（収益）	
Net sales（純売上高）	$ 1,000
ental evenue（受取賃貸料）	70
Inte est evenue（受取利息）	100
Total revenues（総収益）	1,170
Expenses（費用）	
Cost of goo s sol （売上原価）	$ 400
Selling expenses（販売費）	100
Gene al an a minist ative expenses（一般管理費）	150
Inte est expense（支払利息）	50
Income tax expense（法人税等）	70
Total expenses（総費用）	770
Net income（当期純利益）	400

② Multiple-step income statement（区分式損益計算書）

Multiple-step income statement においては、活動の種類ごとに evenues と expenses、ひいては income を示していく。具体的には、ope ating activities からの損益（主たる営業活動による損益）と non-ope ating activities からの損益（営業外の活動による損益）とに区分して表示する。

TAC Company（TAC 株式会社）
Income statement（損益計算書）
For the Year Ended December 31, 20X1 (in thousands)
（自 20X1 年 1 月 1 日　至 20X1 年 12 月 31 日）

Net sales（純売上高）		$1,000
Cost of goods sold（売上原価）		(400)
Gross margin（売上総利益）		600
Operating expenses（営業費用）		
Selling expenses（販売費）	$100	
Gene al an a minist ative expenses（一般管理費）	150	(250)
Operating income（営業利益）		350
Other revenues（その他の収益）		
ental evenue（受取賃貸料）	70	
Inte est evenue（受取利息）	100	170
Other expenses（その他の費用）		
Inte est expense（支払利息）		(50)
Income before income tax（税引前当期純利益）		470
Income tax expenses（法人税等）		(70)
Net income（当期純利益）		$ 400

ここでは各区分の内容を説明する。

まず、商品販売を営んでいる場合、商品の販売による sales（**売上高**）から、その商品の原価（cost of goo s sol ；**売上原価**）を控除して、g oss p ofit（g oss ma gin；**売上総利益**）を求める。

次に、g oss p ofit から、ope ating expenses（**営業費用**）を控除して、ope ating income（**営業利益**）を表示する。Ope ating income は、本業からの儲けを示している。なお、ope ating expenses には selling expenses（**販売費**）と gene al an a minist ative expenses（**一般管理費**）がある。このため、ope ating expenses は SG&A と略して書くことが多い。なお、selling expenses と gene al an a minist ative expenses のそれぞれの具体例は次のとおりである。

【Selling expenses の例】

- elive y expense（F eight-out；発送費）
- Sales sala ies an commissions（営業担当の従業員の給料や手数料）
- A ve tising expense（広告宣伝費）
- ep eciation of sales equipment（販売活動で用いる装置などの減価償却費）

（ ep eciation expense については**第 3 章**で取り扱う。）

【Gene al an a minist ative expenses の例】

- Office s sala ies（執行役員の給料）
- Office sala ies（管理担当の従業員の給料）
- Accounting an legal fees（会計士や弁護士の報酬）
- Insu ance expense（保険料）
- ep eciation of buil ing, office equipment（本社建物や管理活動用の装置などの減価償却費）

さらに、ope ating income に、本業以外の活動からの損益（othe evenues と othe expenses）を加減算する。典型的には、財務活動（資金調達や余剰資金の運用）からの損益を加減算する。Othe evenues と othe expenses の例としては、inte est expense や inte est evenue、 ental evenue、 ivi en income などが挙げられる。

最後に、income tax expense（**法人税等**）を控除して、net income（**当期純利益**）が表示される。

(3) Balance sheet（貸借対照表）

Income statement が「一定期間」の儲けを示すものであるのに対し、balance sheet は「一時点」の企業の状態を示すものである。

具体的には、手元の現金や保有する土地などのプラスの財産である assets（**資産**）から、借入金などのマイナスの財産である liabilities（**負債**）を差し引いて、正味の財産である net assets（**純資産**）を示すものである。たとえば、土地などが 1,000 万円あり、借入金が 600 万円あるとすれば、1,000 万円から 600 万円を差し引いて 400 万円の net assets があることになる。

なお、liabilities が c e ito s のものであるのに対し、net assets は stockhol e s（株主）のものであるので、net assets のことは stockhol e s equity（**資本**）と呼ぶ。

Balance sheet

Assets （**プラスの財産**）	Liabilities （**マイナスの財産**）
	Stockhol e s equity （**正味の財産**）

ここで、見方を変えると、図の右側は「どのように資金を調達しているのか（たとえば銀行から借りているとか、stockhol e s から出資してもらっているということ）」を示しており、図の左側は「調達した資金を何に使っているのか（たとえば土地を買うのに使ったということ）」を示している。これを、会計用語では、sou ce of fun s（資金の調達源泉）と application of fun s（運用形態）といい、balance sheet は yea -en における financial position（**財政状態：資金の調達源泉と運用形態**）を示すものということができる。

Point !

会社の資産の調達源泉は

① Stockhol e s からの出資（**株主から「出資してもらう」**）
② C e ito s からの Loan（**債権者から「借りる」**）
③ Clients からの P ofit（**お客様から「稼ぐ」（ただし、必要経費は除く）**）

の３つである。

(4) Balance sheet に記載される項目

① Assets（資産）

Assets とは、企業が所有するもので、futu e economic benefits（将来の経済的便益）を生み出す経済的資源をいう。経営に役立つ財貨（モノ）および金銭債権など、プラスの財産とイメージしておけばよい。

（例） Cash（現金預金）
Invento y（棚卸資産：商品など）
Buil ings（建物）
Lan （土地）
Accounts eceivable（売掛金、未収金：商品やサービスを提供したものの、cash をいまだ受け取っていないために生じる金銭債権）
Loan eceivable（貸付金）

② Liabilities（負債）

Liabilities とは、企業が将来、他の企業などに一定の財貨・サービスを提供しなければならない obligations（義務）をいう。マイナスの財産とイメージしておけばよい。なお、義務が履行されるまで、c e ito s は企業の assets に対して債権を有することになる。このため、liabilities のことを、c e ito s equity（債権者持分）と呼ぶことがある。

（例） Accounts payable（買掛金、未払金：商品やサービスの提供を受けたものの、cash をいまだ支払っていないために生じる金銭債務）
Loan payable（借入金）

③ Stockhol e s equity（net assets、資本、純資産）

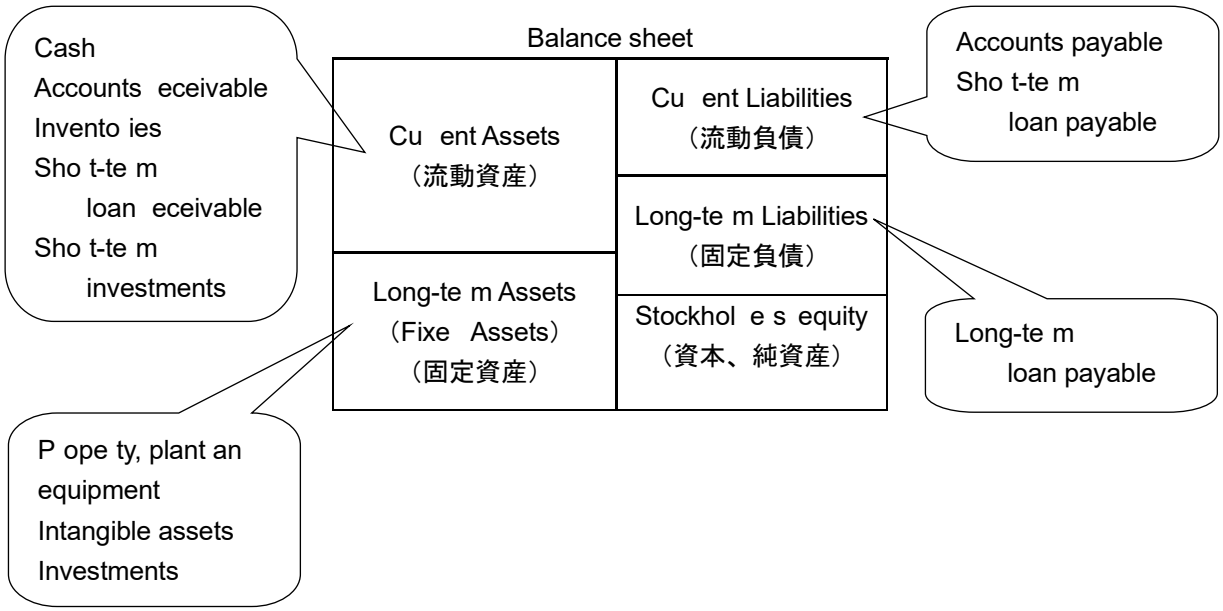
Stockhol e s equity とは、assets から liabilities を差し引いた net assets のことであり、assets に対する stockhol e s の持分を表す。言い換えれば、assets から c e ito s equity を差し引いた esi ual equity（残りの持分）のことをいう。

① Balance sheet（貸借対照表）

TAC Company（TAC 株式会社）
BALANCE SHEET（貸借対照表）
As of December 31, 20X1（20X1 年 12 月 31 日現在）

Assets（資産）	
Cu ent assets（流動資産）	
Cash an cash equivalents（現金および現金同等物）	$ 725
Sho t-te m investments（短期投資）	350
Accounts eceivable（売掛金）	4,081
Invento ies（棚卸資産）	3,528
P epai ent（前払賃借料）	1,222
Othe cu ent assets（その他の流動資産）	604
Total cu ent assets（流動資産合計）	10,510
P ope ty, plant an equipment（有形固定資産）	9,355
Othe assets（その他の資産）	2,935
Total assets（総資産）	$22,800
Liabilities and Stockholders Equity（負債および資本）	
Cu ent liabilities（流動負債）	
Notes payable （支払手形）	$ 1,605
Accounts payable（買掛金）	2,018
Loan payable sho t-te m（短期借入金）	2,222
Acc ue liabilities（未払費用）	2,170
Total cu ent liabilities（流動負債合計）	8,015
Long-te m ebt（長期負債）	
Loan payable long-te m（長期借入金）	1,600
Bon s payable（社債）	2,000
Othe liabilities（その他の負債）	985
Total liabilities（負債合計）	12,600
Stockhol e s equity（資本）	
Common stock, $3 pa value（資本金）	3,000
A itional pai -in capital（資本剰余金）	1,000
etaine ea nings（利益剰余金）	6,200
Total stockhol e s equity（資本合計）	10,200
Total liabilities an stockhol e s equity（負債・資本合計）	$22,800

ここでは assets と liabilities が、balance sheet の上、cu ent（流動）項目と non-cu ent（long-te m、固定）項目に分類されることを知ってほしい。



※ P ope ty, plant an equipment は buil ing（建物）や equipment（備品）などの有形固定資産のことである。また、intangible assets（無形固定資産）は patent（特許権）のような法律上の権利等が該当する。最後に、investments（投資）は、他の会社の株式や社債への投資のことである（ただし短期的なものは cu ent assets とされる）。

Cu ent と non-cu ent に区分する際の考え方は次のとおりである。

- ◆ Ope ating cycle ule（正常営業循環基準）
  Ope ating cycle（現金 → 商品・製品、買掛債務 → 売掛債権）の中にあるものは cu ent とする基準をいう。
- ◆ One-yea ule（１年基準）
  決済期限が決算日の翌日から起算して一年以内（翌期中）に到来するものを cu ent、一年を超えて（翌々期以降に）到来するものを non-cu ent とする基準である。

現行制度上は、assets、liabilities については、まず ope ating cycle の中にあるものについては cu ent 項目とし、ope ating cycle の中にないものについて one-yea ule を適用している。たとえば、invento y や accounts eceivable は cu ent assets する一方で、loan eceivable については決算日の翌日から起算して返済日が１年以内であれば cu ent 項目とし、１年超であれば non-cu ent 項目としている。

Income Statement and Balance Sheet
（損益計算書と貸借対照表）

Income statement や balance sheet という言葉を初めて耳にする方は、次の簡単な設例を使って大雑把なイメージをつかみましょう。

Example

ある日の朝、太郎君は財布の中に 8,000 円のお金を持っていました。しかし、このとき、太郎君はA君から 3,000 円を借りていました。

その日の昼、太郎君は、A君やB君とポーカー・ゲームで賭けをして遊びました。太郎君はロイヤル・ストレート・フラッシュであがり、A君、B君から、それぞれ 1,000 円、2,000 円をもらえることになりました。ただ、A君からは直接お金をもらうのではなく、太郎君のA君からの借りを 2,000 円に減額することにしました。また、B君は貧乏なので、とりあえず 1,000 円だけお金をもらい、残りの 1,000 円は太郎君のB君への貸しとしました。そして、気をよくした太郎君はタクシー代 500 円を使って家に帰りました。その日の夜、太郎君は、財布の中に 8,500 円があることを確認してから眠りにつきました。

ある日の朝	財布の中のお金	8,000 円
	A君からの借り	3,000 円
その日の昼	ポーカーの勝ち	3,000 円
	タクシー代	500 円
その日の夜	財布の中のお金	8,500 円
	B君への貸し	1,000 円
	A君からの借り	2,000 円

さて、太郎君はこの日いくら儲けたでしょうか？　財布の中身が 8,000 円から 8,500 円になったから 500 円の儲けでしょうか？　違いますよね。朝の時点においては太郎君の正味財産は 5,000 円だったのです。そして、ポーカー・ゲームで 3,000 円勝ち、タクシー代を 500 円支払ったため、差引 2,500 円だけもうけたことになります。その結果、夜の時点においては太郎君の正味財産は 7,500 円となったのです。

ある日の朝	財布の中のお金	8,000 円
	A君からの借り	−3,000 円
	正味財産	5,000 円
その日の昼	ポーカーの勝ち	3,000 円
	タクシー代	− 500 円
	本日のもうけ	2,500 円
その日の夜	財布の中のお金	8,500 円
	B君への貸し	＋1,000 円
	A君からの借り	−2,000 円
	正味財産	7,500 円

朝の時点における正味財産5,000円に本日の儲け2,500円が加わり、夜の時点における正味財産が7,500円になったということが把握できたでしょうか。

これらの計算過程を表にすると次のとおりです。

本日の儲けの計算

タクシー代 500	ポーカーの勝ち 3,000
儲け 2,500	

夜の時点における財産

お 金 8,500	A君からの借り 2,000
B君への貸し 1,000	正味財産 7,500
	（朝からあった分 5,000
	本日の儲け分 2,500）

この表を少し変えてみましょう。実は、これが income statement と balance sheet なのです。

損益計算書

費 用 500	収 益 3,000
利 益 2,500	

貸借対照表

	負 債 2,000
資 産 9,500	資 本 7,500
	（元本 5,000
	利益 2,500）

(5) その他の financial Statements（財務諸表）

① Cash Flow Statement（C/F）（キャッシュフロー計算書）

Cash Flow Statement は、B/S の Cash an cash equivalents（現金および現金同等物）の増減を、Ope ating Activities（営業活動）、Investing Activities（投資活動）、Financing Activities（財務活動）に分けて表示する。

TAC Company（TAC 株式会社）
Statement of Cash Flows（キャッシュフロー計算書）
For the Year Ended December 31, 20X1 (in thousan s)
（自 20X1 年 1 月 1 日 至 20X1 年 12 月 31 日）

CASH FLOWS FROM OPERATING ACTIVITIES（営業活動によるキャッシュフロー）		
Cash eceive f om custome s（商品販売による収入）	$900	
Cash pai to supplie s（商品の購入支出）	(550)	
Inte est eceive （受取利息）	100	
Inte est pai （支払利息）	(50)	
Income taxes pai （法人税等の支払による支出）	(60)	
Net cash provided by operating activities（営業活動による増加額）		**$ 340**
CASH FLOWS FROM INVESTING ACTIVITIES（投資活動によるキャッシュフロー）		
Capital expen itu es fo PPE（有形固定資産の購入支出）	(1,200)	
Net cash used in investing activities（投資活動による減少額）		**(1,200)**
CASH FLOWS FROM FINANCING ACTIVITIES（財務活動によるキャッシュフロー）		
P ocee s f om issuance of long-te m ebt（社債発行による収入）	1,600	
ivi en s pai （支払配当金）	(200)	
Net cash provided by financing activities（財務活動による増加額）		**1,400**
NET INCREASE IN CASH AND CASH EQUIVALENTS（現金および現金同等物の増加額）		**540**
Cash an cash equivalents at beginning of yea（現金および現金同等物の期首残高）		185
Cash and cash equivalents at end of year（現金および現金同等物の期末残高）		**$ 725**

② Statement of Changes in Stockhol e s Equity（S/S）（株主資本等変動計算書）

Statement of Changes in Stockhol e s Equity は、B/S の Stockhol e s Equity（株主資本）の増減明細を表す財務諸表である。Stockhol e s Equity の詳細については、第 6 章で学習する。

TAC Company（TAC 株式会社）
Statement of changes in Stockholders equity
（株主資本等変動計算書）
For the Year Ended December 31, 20X1 (in thousands)
（自 20X1 年 1 月 1 日 至 20X1 年 12 月 31 日）

	Common Stock（資本金）	Additional Paid-in Capital（資本剰余金）	Retained Earnings（利益剰余金）	Total（合計）
ecembe 31 20X0	$3,000	1,000	6,000	10,000
Net Income（当期純利益）			400	400
ivi en Payment（支払配当金）			(200)	(200)
ecembe 31 20X1	3,000	1,000	6,200	$10,200

③ Notes（注記）

利害関係者に重要な情報を補足的に開示するために各財務諸表に Notes（注記）が記載される。

(6) Generally Accepted Accounting Principles（GAAP：一般に認められた会計原則）

企業が開示する financial statements の社会的な重要性はきわめて大きい。そして、financial statements のもつ社会的重要性が高ければ高いほど、その作成には注意が払われなければならない。真実ではない内容の（misstatements（虚偽の表示）を含んだ）financial statements が開示された場合、各種の stakehol e s は大きな損害を被ったり、適切な意思決定が行えない可能性があるからである。

ここで、financial statements の作成を全面的に management（経営者）にまかせてしまった場合、management が自らの利益のために financial statements の諸数値を操作してし

まう可能性もある。たとえば、企業活動に必要な資金を多く集めようとする management は、利益を実態より過大に計上しようとするかもしれない。

そこで、具体的に financial statements を作成するためのよりどころとなるルールの設定が必要とされることになる。

このルールは、一般に公正妥当と認められてきたものを集約し、また規範的な視点から修正して成り立っており、gene ally accepte accounting p inciples（GAAP、一般に認められた会計原則）と呼ばれる。

なお、accounting p inciples（会計原則）のことは、accounting stan a s（会計基準）と呼ぶこともある。

1. Basic Concepts of Financial Accounting Terminology

☐	1	income statement	損益計算書
☐	2	balance sheet	貸借対照表
☐	3	evenue	収益
☐	4	expense	費用
☐	5	net income	当期純利益
☐	6	ope ating esults	経営成績
☐	7	asset	資産
☐	8	liability	負債
☐	9	net assets	純資産
☐	10	stockhol e s' equity	資本
☐	11	financial position	財政状態
☐	12	gene ally accepte accounting p inciples	一般に認められた会計原則
☐	13	GAAP	一般に認められた会計原則

2. Inventories (棚卸資産)

Objectives

商品などの棚卸資産は、企業が利益を得る源泉となる重要な財産です。棚卸資産の取得原価は、販売によって資産から売上原価に振り替えられて収益と対応する費用となり、収益との差額で売上総利益が計算されます。
本章では、棚卸資産の処理のプロセスである、取得原価の決定、原価配分（数量の計算と単価の計算)、そして低価法の適用についてみていきます。
また、取得原価の修正や所有権の移転時期についてもみていきます。

Key Topics

1. **Inventory の範囲**
2. **Inventory の処理プロセス**
3. **Original Cost（取得原価）の決定**
4. **Original Cost の修正**
5. **Perpetual Inventory System and Periodic Inventory System**
   （継続記録法と棚卸計算法）
6. **払出単価の計算方法**
7. **Lower of Cost or Market , Lower of Cost and Net Realizable Value**
   (LCM, LCN V;低価法)
8. **Title の移転時期**

©TAC all ights ese ve

1. Inventory の範囲

Invento y is the mate ial o me chan ise owne by a co po ation at the en of an accounting pe io that is **eventually sold to customers or used in the process of production.**

Inventory（棚卸資産）は最終的に販売目的で保有するもので、下記のようなものがある。

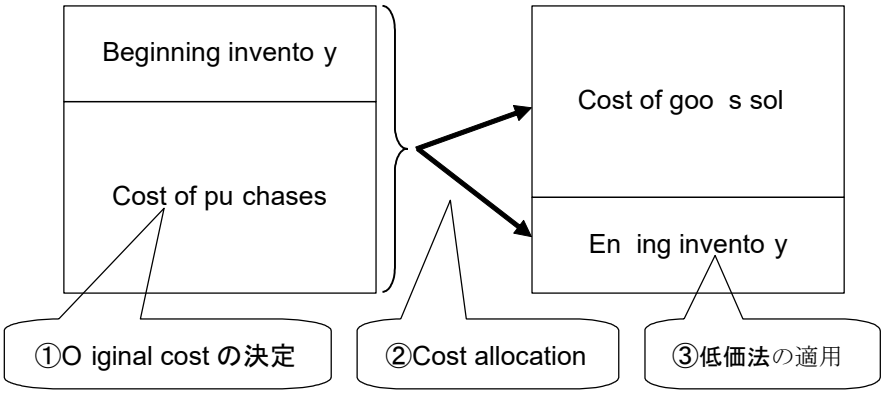
① Me chan ise invento y（商業における棚卸資産＝商品）

小売業者および卸売業者などが外部から購入し、そのまま外部へ販売する目的で保有している棚卸資産（Goo s hel fo sale by etail o wholesale fi ms.）

② Manufactu ing invento y（製造業における棚卸資産）

- aw mate ials（原材料）
  製造業者が製造工程に投入するために取得した棚卸資産（Components that will become pa t of goo s manufactu e .）
- Wo k-in-p ocess（仕掛品）
  期末時点で未完成（製造途中）の棚卸資産（The amount of money investe in unfinishe goo s at yea -en .）
- Finishe goo s（製品）
  製造を完了して外部に販売可能な状態で保有している棚卸資産（Goo s hel fo esale by manufactu ing fi ms.）

2. Inventory の処理プロセス



Invento y の処理プロセスは３段階に分けることができる。

① O iginal cost（取得原価）の決定
② Cost allocation（原価配分）
　beginning invento y（期首棚卸高）＋cost of pu chases（当期仕入高）
　（＝cost of goo s available fo sale）- en ing invento y（期末棚卸高）
　＝cost of goo s sol （売上原価）
　（cost of goo s sol は当期の sales と matching する）
③ **期末在庫の評価・・・低価法の適用**

3. Original Cost（取得原価）の決定

※ O iginal cost は実際の支出額に基づくため、「過去の事実に基づく」という意味で histo ical cost（歴史的原価）といわれることもある。

(1) 購入時の会計処理

Invento y 購入時の会計処理

Journal Entry

Pu chases（仕入）（Invento y : 商品） xxx
Cash （現金）/ Accounts payable（買掛金） xxx

(2) Costs inclu e in invento y（棚卸資産原価の構成要素）

The costs to be inclu e in invento y inclu e all costs **necessary to prepare** the goo s fo sale.

Invento y の o iginal cost には pu chase p ice（購入代価）だけでなく、販売できる状態になるまでに要したすべての費用が含まれる。

O iginal cost ＝ pu chase p ice（購入代価）＋ 付随費用

付随費用となるもの

- F eight-in（引取運賃）
- F eight insu ance（引取に関する保険料）

付随費用に該当しないもの

- F eight-out（発送運賃）selling expense になる。
- Inte est on an invento y loan（商品仕入のための借入金利息）
  inte est expense になる。

4. Original Cost の修正

(1) purchases returns and allowances（仕入返品、仕入値引）

仕入れた商品を破損等の理由により返品した場合には pu chases etu ns（**仕入返品**）として処理する。また、返品ではなく値引きを要求した場合には pu chases allowances（**仕入値引**）として処理する。

Example

商品を$1,000で購入した後に、軽微な破損が判明したために値引を要求し、代金の一部$200について値引を受けた。

【購入時】Pu chases 1,000
Accounts payable 1,000

【値引時】Accounts payable 200
Pu chases etu ns an allowances 200

なお、返品した場合も同様の処理を行う。

pu chases 勘定（または invento y 勘定）の cont a account である pu chases etu ns an allowances（仕入返品および値引勘定）で処理する。

pu chases（invento y）を直接減少させる処理もあるが、cont a account（対象となる項目の金額を間接的に修正するための勘定：評価勘定）を用いて間接的にマイナスする方が望ましい。

(2) purchases discounts（仕入割引）

cash iscount（**現金割引**）は、仕入れた商品の代金が契約で定めた条件に従い支払われたときに、代金の一部を減額するという契約である。購入側（現金を支払う側）の立場からは pu chases iscount（**仕入割引**）と呼ばれる。

たとえば、“2/10, net 30 (2 pe cent in 10 ays, net 30 ays)”という c e it te m は、「30日以内に全額を支払うこと。10日以内に支払えば２％割引する」という意味となり、10日以内に代金を支払えば、支払額は$98になり、10日より後に代金を支払えば、支払額は$100になる。

Example

ＴＡＣ社は４月１日に商品を$100で購入した。
C e it te m は、“2/15, n/40”である。

４月１日	Pu chases 100 　Accounts payable 100
４月16日 までに支払った場合	Accounts payable 100 　Cash 98 　Pu chases iscounts 2 （Pu chases の cont a account）
４月17日 以後に支払った場合	Accounts payable 100 　Cash 100

5. Periodic Inventory System and Perpetual Inventory System （棚卸計算法と継続記録法）

(1) Periodic inventory system and perpetual inventory system

Invento y の売上原価（払出単価）の計算のタイミングには２通りあり、それぞれで会計処理が異なる。

① Pe io ic invento y system（棚卸計算法）

Pe io ic invento y system では、期末にまとめて、一会計期間の売上原価を計算する。

② Pe petual invento y system（継続記録法）

Pe petual invento y system では、販売の都度、売上原価を計算する。

©TAC all ights ese ve

6. 払出単価の計算方法

(1) 払出単価の計算方法

払出単価の計算には下記のような方法がある。

- ◆ 個別法：商品の実際仕入単価を払出単価とする方法
- ◆ 先入先出法：先に仕入れたものから先に払い出すとみなして計算する方法
- ◆ 後入先出法：後に仕入れたものから先に払い出すとみなして計算する方法
- ◆ 平均法：平均仕入単価で払い出すとみなして計算する方法

各方法の計算方法を次の簡単な例を用いて解説していく。

Example

３月中の仕入・販売状況が次のとおりで、３月１ヶ月間を accounting pe io （会計期間）とした場合、３月の cost of goo s sol （売上原価）、en ing invento y（期末商品）をそれぞれの方法により計算しなさい。

Units	@単価 ($)	Total Cost/P ocee s ($)
(Beginning invento y)		
3/1 2,000	@4.00	$ 8,000
(Pu chase)		
3/15 6,000	@4.40	$ 26,400
3/30 2,000	@4.75	$ 9,500
(Cost of goo s available fo sale)		
10,000		$ 43,900
(Sales)		
3/10 1,000	@6.00	$ 6,000
3/19 3,000	@6.00	$ 18,000
(En ing invento y)		
3/31 6,000	@ ？	$ ？

① Specific i entification metho （個別法）

Specific i entification metho は、商品の**実際仕入単価を払出単価とする方法である**。物の流れと原価の流れが一致している方法である。

Example **Specific identification method**

Specific i entification metho を用いた結果、期末に残っている6,000個の invento y には、３月１日のものが1,000個、３月15日に仕入れたものが3,000個、３月30日に仕入れたものが2,000個含まれていることがわかった（販売されたのは、３月１日のものが1,000個、３月15日に仕入れたものが3,000個である）。

この場合、cost of goo s sol と en ing invento y は次のように求められる。

- Cost of goo s sol　　$17,200（＝$4.00×1,000個＋$4.40×3,000個）
- En ing invento y　　$26,700（＝$4.00×1,000個＋$4.40×3,000個＋$4.75×2,000個）

② Ave age cost metho （平均法）

取得した invento y の ave age unit cost（平均単価）を算出し、この ave age unit cost によって cost of goo s sol および en ing invento y を算定する方法である。

pe io ic invento y system と pe petual invento y system とのつながりにより、
ⅰ weighte ave age metho （総平均法）
ⅱ moving ave age metho （移動平均法）
に分けることができる。

ⅰ Weighte -ave age metho （総平均法）

一会計期間全体の ave age unit cost を用いる方法。
期末に、同一商品の ave age unit cost を計算し、その単価を用いて cost of goo s sol と en ing invento y を算定する。Pe io ic invento y system と結びつく。

ⅱ Moving ave age metho （移動平均法）

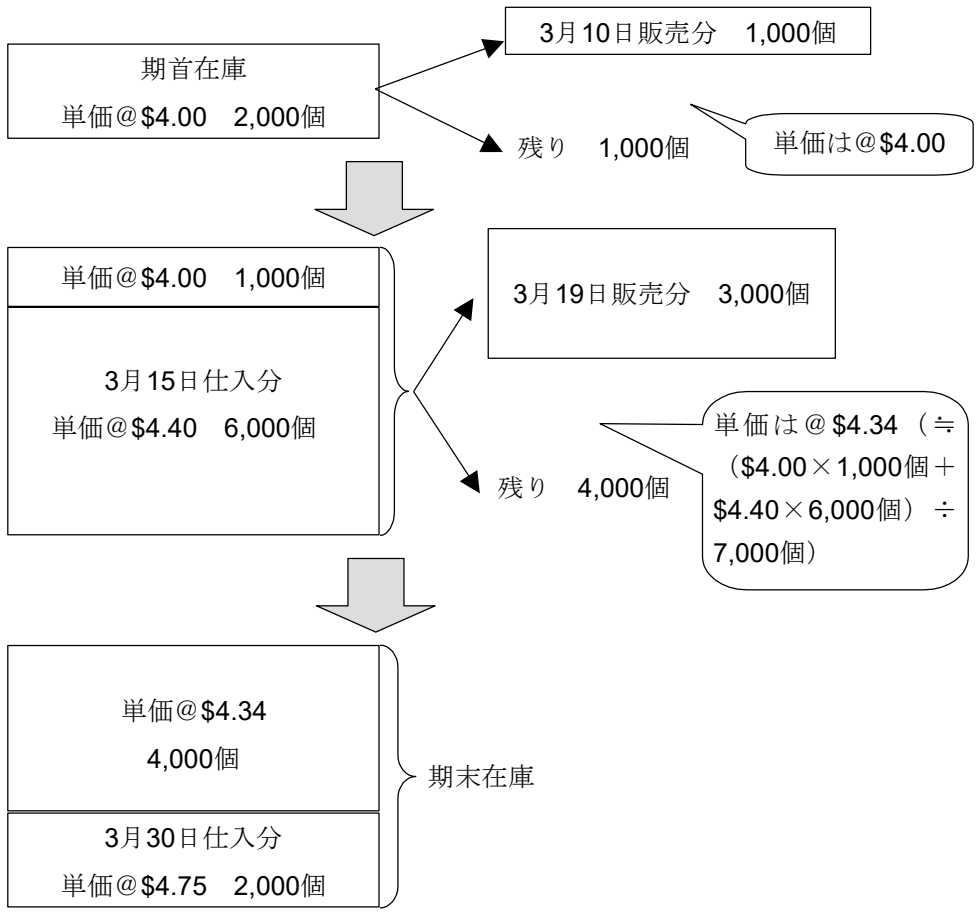
商品を仕入れる都度、ave age unit cost を計算し直し、その単価を用いて cost of goo s sol と en ing invento y を算定する。Pe petual invento y system と結びつく。

Example **Weighted average method ― Periodic inventory system**

まず、cost of goo s available fo sale が$43,900であり、total numbe of units が10,000個なので、weighte ave age unit cost は$4.39（＝$43,900÷10,000個）と計算できる。
当月販売数量が4,000個、期末数量が6,000個なので、cost of goo s sol と en ing invento y は次のように求められる。

- Cost of goo s sol $17,560（＝$4.39×4,000個）
- En ing invento y $26,340（＝$4.39×6,000個）

Example **Moving average method ― Perpetual inventory system**



以上より、cost of goo s sol と en ing invento y は次のように求められる。

- Cost of goo s sol　$17,029（＝$4.00×1,000個＋（$4.00×1,000個＋$4.40×6,000個）÷7,000個×3,000個）
- En ing invento y　$26,871（＝（$4.00×1,000個＋$4.40×6,000個）÷7,000個×4,000個＋$4.75×2,000個）

③ Fi st-in, fi st-out (FIFO) metho （先入先出法）

先に仕入れたものから先に払い出されるとみなして払出単価を計算する方法である。

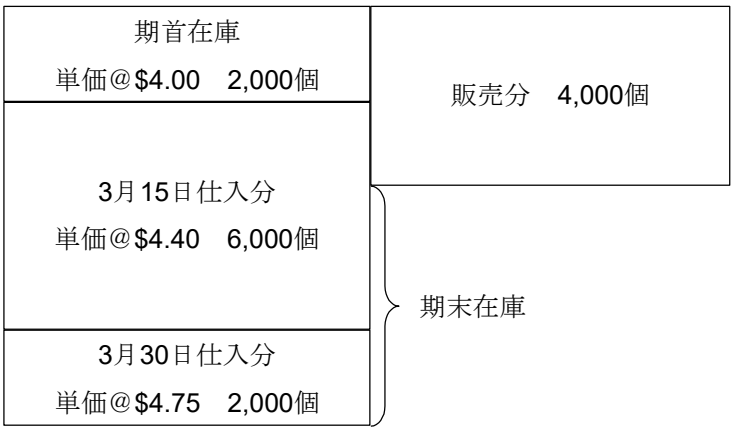
なお、pe io ic invento y system と pe petual invento y system とのつながりにより、

ⅰ FIFO－Pe io ic（期別一括先入先出法）

ⅱ FIFO－Pe petual（その都度先入先出法）

に分けることができるが、どちらによっても計算結果は同一となる。

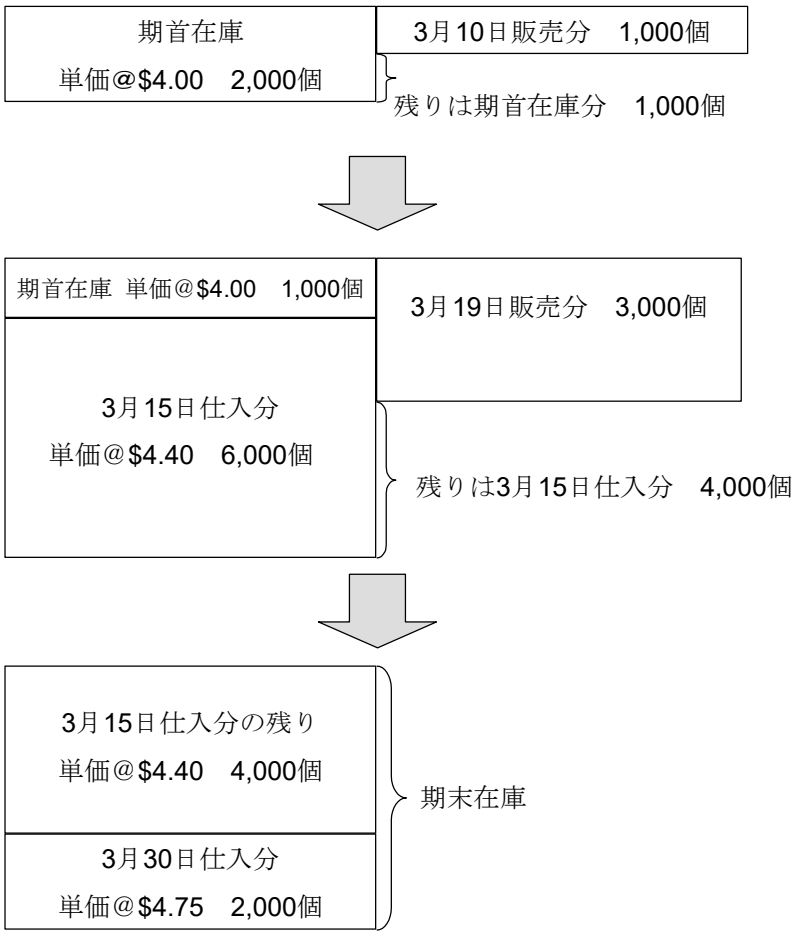
Example **FIFO ― Periodic inventory system**



以上より、cost of goo s sol と en ing invento y は次のように求められる。

- Cost of goo s sol　$16,800（＝$4.00×2,000個＋$4.40×2,000個）
- En ing invento y　$27,100（＝$4.40×4,000個＋$4.75×2,000個）

Example **FIFO ― Perpetual inventory system**



以上より、cost of goo s sol と en ing invento y は次のように求められる。

- Cost of goo s sol　　$16,800（＝$4.00×2,000個＋$4.40×2,000個）
- En ing invento y　　$27,100（＝$4.40×4,000個＋$4.75×2,000個）

このように、FIFO の場合には、FIFO－Pe io ic（期別一括先入先出法）でも FIFO－Pe petual（その都度先入先出法）でも計算結果は同一になる。

④ Last-in, fi st-out (LIFO) metho （後入先出法）

後から仕入れたものから先に払い出されるとみなして払出単価を計算する方法である。

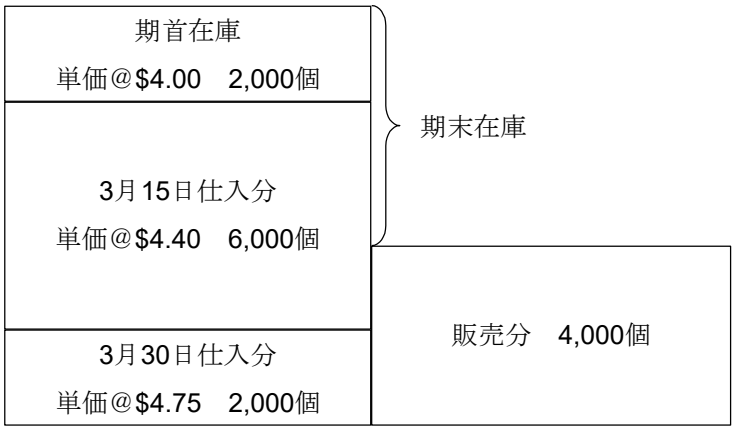
なお、pe io ic invento y system と pe petual invento y system とのつながりにより、

ⅰ LIFO－Pe io ic（期別一括後入先出法）

ⅱ LIFO－Pe petual（その都度後入先出法）

に分けることができるが、FIFO の場合とは異なり、LIFO の場合は両者で結果が異なることがある。

Example **LIFO ― Periodic inventory system**



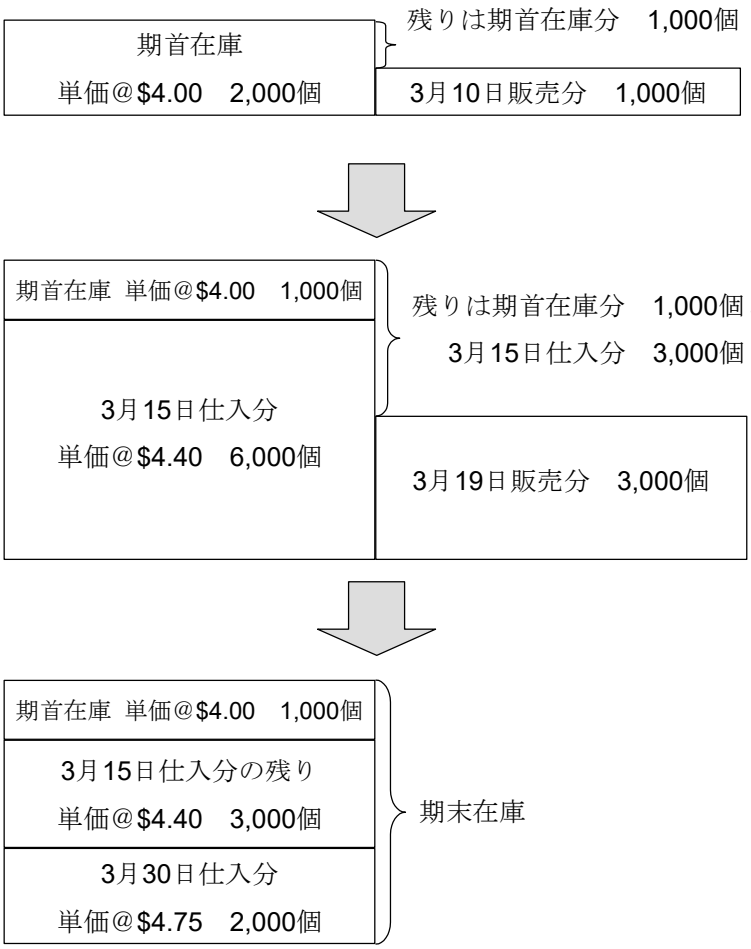
以上より、cost of goo s sol と en ing invento y は次のように求められる。

- Cost of goo s sol　　$18,300（＝$4.75×2,000個＋$4.40×2,000個）
- En ing invento y　　$25,600（＝$4.00×2,000個＋$4.40×4,000個）

IF S

IF S では、実際の物の流れとは異なることが多いという理由から、invento y について、LIFO（後入先出法）の適用を禁止している。

Example **LIFO ― Perpetual inventory system**



以上より、cost of goo s sol と en ing invento y は次のように求められる。

- Cost of goo s sol　$17,200（＝$4.00×1,000個＋$4.40×3,000個）
- En ing invento y　$26,700（＝$4.00×1,000個＋$4.40×3,000個＋$4.75×2,000個）

©TAC all ights ese ve

Exercise

Use the following info mation to answe questions (1) (3).

ate	esc iption	Quantity
01-June	Beginning	10@$60
05-June	Pu chase	60@$56
14-June	Sale	40
21-June	Pu chase	30@$58
30-June	Sale	28

A physical count in icate that 32 of goo s a e still on han .

(1) Assuming that a pe io ic invento y system is use , what is the cost of goo s sol on a LIFO basis?

a. $1,832
b. $1,852
c. $3,848
. $3,868

(2) Assuming that a pe petual invento y system is use , what is the cost of goo s sol on a LIFO basis?

a. $3,868
b. $3,864
c. $1,836
. $1,832

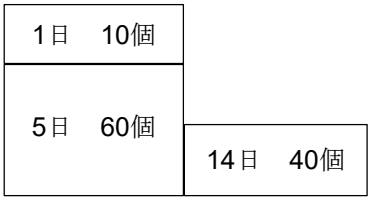
(3) Assuming that a pe petual invento y system is use , what is en ing invento y on a FIFO basis?

a. $1,832
b. $1,852
c. $3,848
. Mo e info mation is nee e

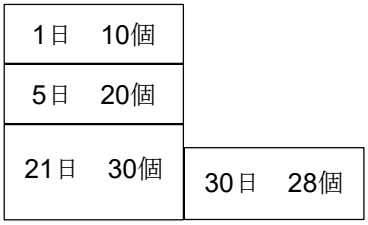
【解答と解説】

(1) **(d)** まず、cost of goo s available fo sale を計算する。これは、$5,700（＝期首在庫分$600（＝10個×$60）＋６月５日仕入分$3,360（＝60個×$56）＋６月21日仕入分$1,740（＝30個×$58））と計算される。
次に、期末在庫は32個ですが、LIFO の考え方からすると、期末在庫は期首在庫分の10個と６月５日仕入分22個から構成されることになる。よって、en ing invento y は、$1,832（＝$600＋22個×$56）となる。
以上より、cost of goo s available fo sale から en ing invento y をマイナスして、cost of goo s sol は$3,868（＝$5,700－$1,832）と求められる。
なお、cost of goo s sol を直接求めることもできる。つまり、当期払出分は68個（６月14日販売分40個と６月30日販売分28個）なので、cost of goo s sol は６月21日仕入分30個と６月５日仕入分38個から構成されることになる。よって、$3,868（＝30個×$58＋38個×$56）と求められる。

(2) **(b)** まず、６月14日に販売した分は、すべて６月５日に購入した分から成る。



次に、６月30日に販売した分は、すべて６月21日に購入した分から成る。



よって、cost of goo s sol は$3,864（＝40個×@56＋28個×@58）になる。

(3) **(b)** FIFO を採用している場合には、pe io ic invento y system を用いているか pe petual invento y system を用いているかにかかわらず結果は同じになる。
問題文では pe petual invento y system を用いているものとしていますが、簡単に計算するために、計算上は pe io ic invento y system を用いていると考えてしまえばよい。
具体的には、FIFO の考え方からすれば、期末在庫分32個は、６月21日仕入分30個と６月５日仕入分２個から構成されることになる。よって、en ing invento y は、$1,852（＝30個×$58＋２個×$56）と求められる。

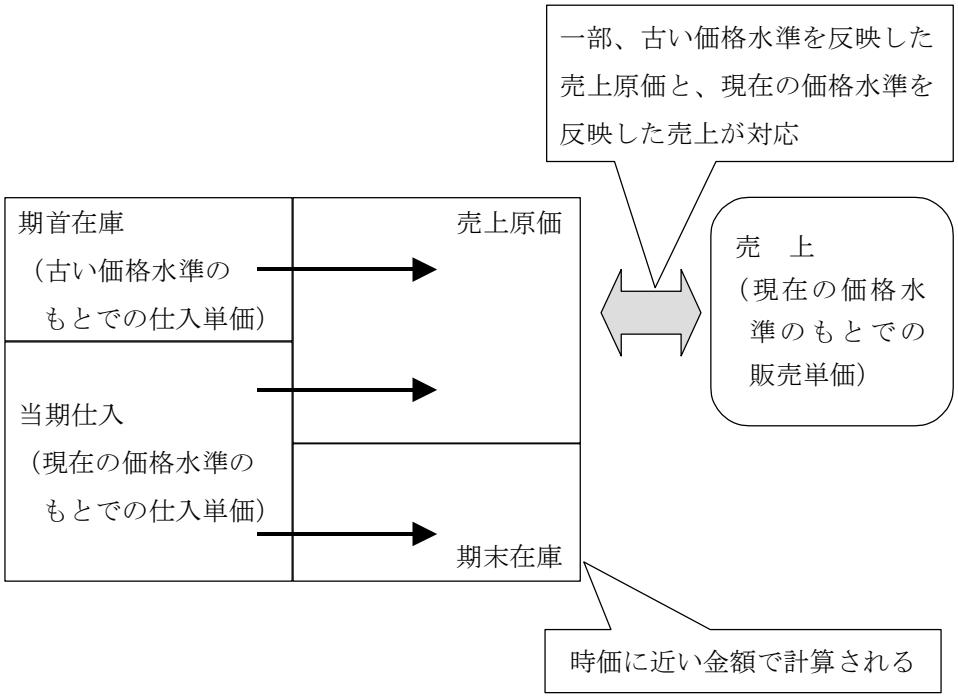
(3) FIFO metho と LIFO metho の特徴

① FIFO metho （先入先出法）

先に仕入れたものから先に払い出されると仮定して払出単価を計算する方法。

i 先に仕入れたものから cost of goo s sol が構成される。
ii En ing invento y は、後に仕入れたもの（最近仕入れたもの）から構成される。

i Sales と cost of goo s sol は、異なる価格水準で matching し、hol ing gain / loss（保有損益）が g oss p ofit に含まれることになる。
ii En ing invento y は、期末における当該資産の時価に近い金額で balance sheet に計上される。



＜参考＞　Hol ing gain / loss とは

会計はもともとインフレが激しい時代に発達したものなので、インフレに関連する議論がいくつかあり、hol ing gain / loss（保有損益）もその一つである。

たとえば、あるときに invento y を＠$100で購入したとする。一方、販売時には＠$150で販売したものの、仮に同じものを販売時に購入したとすると、＠$120であったとする。

この場合、単純に考えると利益は＠$50となるが、そのうち＠$20は、単にインフレ（または価格変動）によって得られたものであって、残りの＠$30だけが純粋な販売活動からの利益と考えられる。

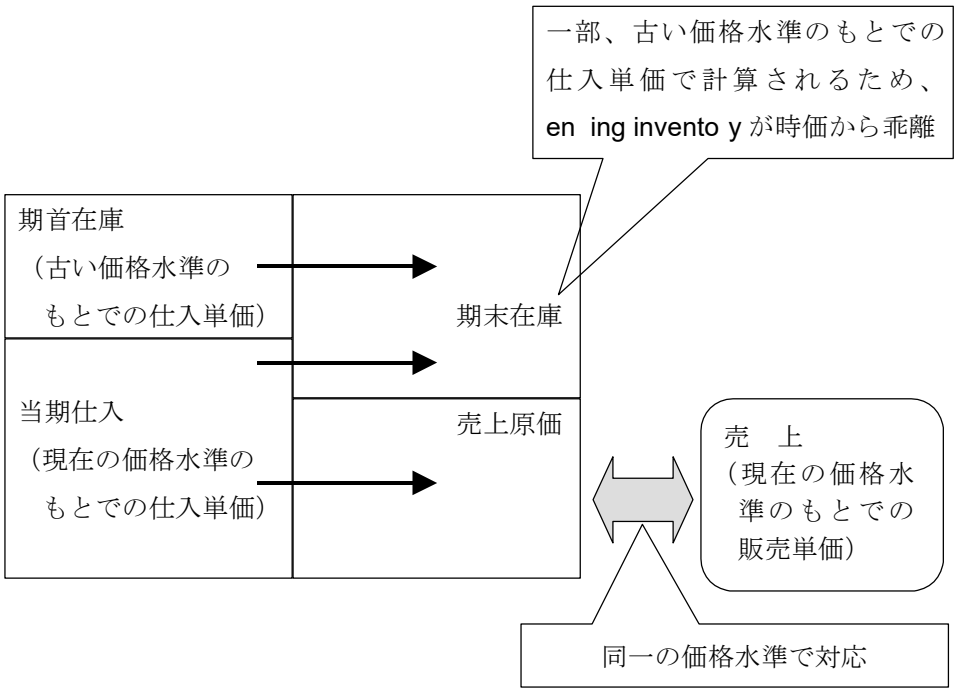
この＠$20のこと（インフレ（または）価格変動によって得られた利益のこと）を hol ing gain（**保有利得**）と呼ぶ。なお、マイナスのときは hol ing loss（保有損失）と呼ぶ。

② LIFO metho （後入先出法）

後から仕入れたものから先に払い出されるとみなして払出単価を計算する方法。

i 後に仕入れたものから cost of goo s sol が構成される。
ii En ing invento y は、先に仕入れたもの（比較的過去に仕入れたもの）から構成される。

i Sales と cost of goo s sol は、比較的同一の価格水準で matching する。これにより、ある程度 hol ing gain / loss（保有損益）を g oss p ofit から除外することができる。
ii En ing invento y は、期末における当該資産の時価から乖離した金額で balance sheet に計上される。

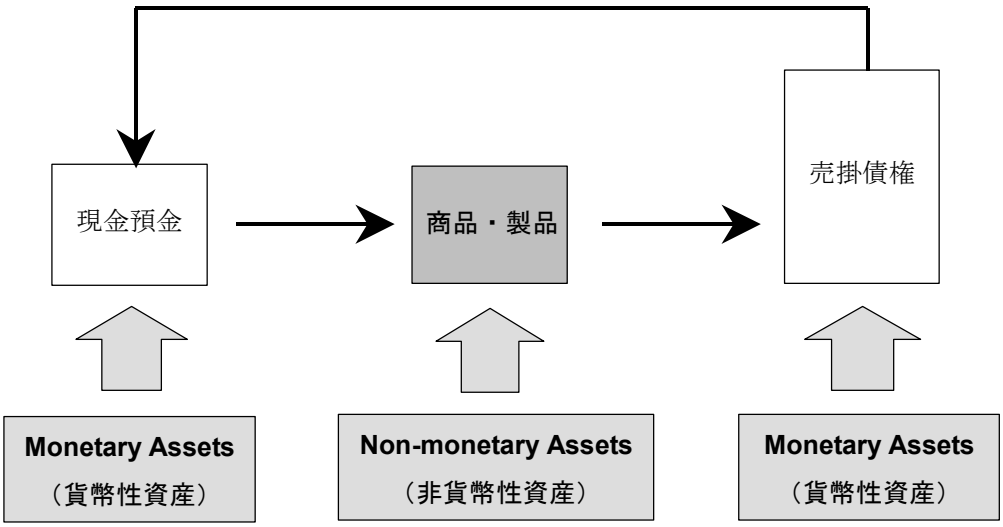


【MEMO】

©TAC all ights ese ve

7. Lower of Cost or Market and Lower of Cost and Net Realizable Value（低価法）

(1) 低価法の意義



Invento y は Non-moneta y Assets に該当するため、o iginal cost（取得原価）**に基づいた金額で評価するのが原則である。**

ただし、例外的に、**「時価が原価よりも下がった場合」**については、en ing invento y の金額を時価で評価することが要求されている。（強制適用）これを、**低価法**という。

低価法においては、cost（原価）と ma ket value（時価）**を比較し、いずれか低い方が** en ing invento y **の金額となる。**

低価法が例外的に適用されるのは、conse vatism（**保守主義**）という考え方からである。

conse vatism とは、利益を控えめに計上しようという慣行的な考え方である。そのため、 evenues は遅め小さめに、expenses は早め大きめに計上されることになる。

Invento y の ma ket value が下がっている場合に、低価法を適用することによって、期末時点ですでに Invento y の有用性が低下していることを financial statements に反映させ、将来販売時に生じるはずの損失を先取りしていくことになる。

低価法の適用は、「将来の販売時に生じるはずの損失の先取り」を意図しているので、ma ket value への修正は ma ket value が cost を**下回った場合**にのみ行われる。ma ket value が cost を上回る場合には cost で評価する。(評価損は認識するが、評価益は認識しない)。

低価法を適用した場合の仕訳は次のようになる。

Journal Entry

Cost of goo s sol （売上原価）	xxx	
（または Loss on e uction of ma ket value（商品低価評価損））		
Invento y（商品）		xxx

いったん計上した評価損（通常は cost of goo s sol に含まれる）は、その後 ma ket value が上昇しても、戻し入れは行わない。

IF S

IF S では、評価損の表示箇所については特に定めはないが、発生した期の損失として計上する。Net ealizable value が回復した場合には、認識した評価損の額を限度として eve sal（戻し入れ）を行う。

eve sal を行う場合、棚卸資産に関する費用（売上原価等）の減額として処理する。

(2) Lower of Cost and Net Realizable Value (LCNRV)

Un e U.S. GAAP, the lowe of cost an net ealizable value metho is use fo all invento y that is not coste using LIFO o the etail invento y metho . This metho is equi e to value all invento y un e IF S.

Point !

U.S GAAP では、LIFO (後入先出法)と etail metho (売価還元法) 以外の評価方法を採用している企業は、lowe of cost an net ealizable value を採用し、cost（原価）と net ealizable value（正味実現可能価額）を比較し、いずれか低い方を en ing invento y の金額とする。LIFO (後入先出法)と etail metho を適用している企業は、**(3)**の lowe of cost o ma ket により評価する。

Net ealizable value（N V、正味実現可能価額）

＝ Selling p ice － selling costs － cost to complete

（正味実現可能価額＝販売価額－販売コスト－※完成までにかかるコスト）

※製造途中の invento y（仕掛品）の場合、完成までにかかるコストもマイナスする。

IF S

IF S では、invento y の評価については、すべての評価方法において、lowe of cost an net ealizable value が適用されている。

(3) Lower of cost or market (LCM)

LIFO (後入先出法)と etail metho (売価還元法) を採用している企業は、lowe of cost o ma ket を採用して、en ing invento y の金額を評価する。Lowe of cost o ma ket において、cost と比較する ma ket value には、基本的に eplacement cost（ C；**取替原価／再調達原価**）が用いられる。ただし、Net ealizable value（N V、正味実現可能価額）を ceiling（上限）とし、Net ealizable value － No mal p ofit（正味実現可能価額－正常利益）を Floo （下限）とする。

◆ Ceiling　Net ealizable value（N V、正味実現可能価額）
→N V ＝ Selling p ice － selling costs － cost to complete
（正味実現可能価額
＝販売価額－販売コスト－※完成までにかかるコスト）

◆ Floo　Net ealizable value － No mal p ofit
（正味実現可能価額－正常利益）

※製造途中の invento y（仕掛品）の場合、完成までにかかるコストもマイナスする。

C が N V を上回っている場合には、N V を ma ket value として用い、仮に C が“N V－NP”を下回っている場合には、“N V－NP” を ma ket value として用いる。

Example

	ケース１	ケース２	ケース３	ケース４	ケース５
Cost	200	200	200	200	200
C	150	185	130	210	230
N V	180	180	180	220	220
N V－NP	140	140	140	180	180
評価額	150	180	140	200	200

〈解答手順〉
① Invento y の ma ket value を選択し
② cost と選択した ma ket value を比較して、いずれか低い方で評価する。

©TAC all ights ese ve

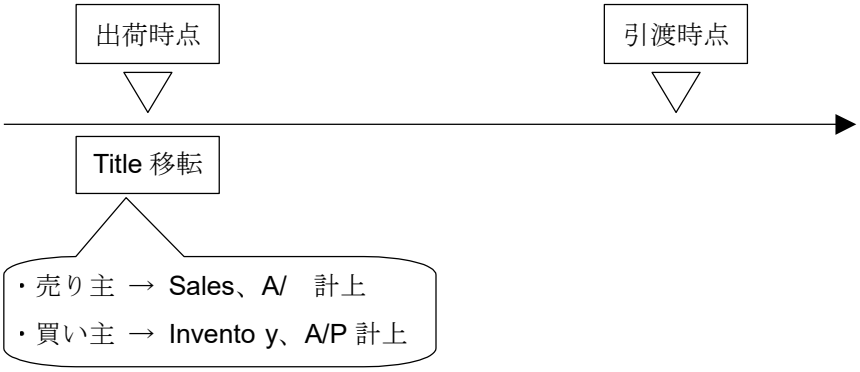
8. Title の移転時期

(1) FOB shipping point and FOB destination **Point !**

商品売買の契約により、どの時点で title（所有権）が移転するかが異なる。契約形態には、FOB shipping point（出荷地契約）と FOB estination（目的地契約）の２つがある。

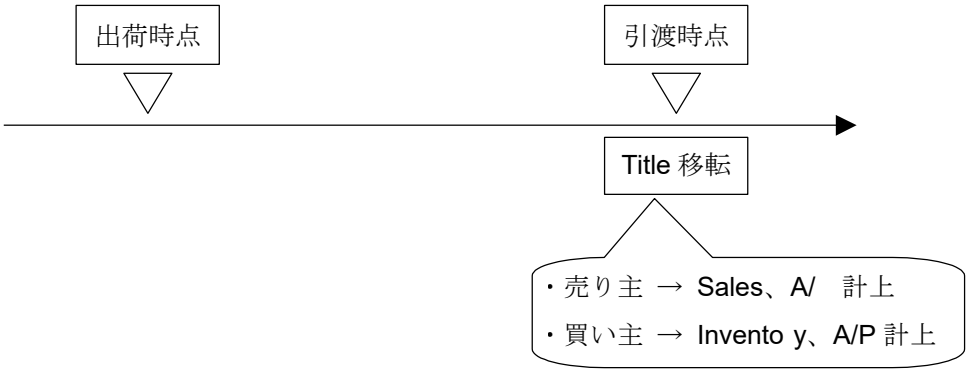
① FOB shipping point（出荷地契約）

売り主が出荷地で運送業者に引き渡した時点で title が移転する。



② FOB estination（目的地契約）

目的地で買い主が受け取った時点で title が移転する。



Example

ＴＡＣ社の当期の yea -en （20X5年12月31日）における決算にあたり、次の４つの a itional info mation があったとすると、どのような修正が必要になるか？

① Goo s costing $30,000 we e shippe to TAC FOB estination on ecembe 20 an we e eceive an eco e on Janua y 6.
② Goo s costing $10,000 we e shippe to TAC FOB shipping point on ecembe 21 an we e eceive an eco e on Janua y 7.
③ Goo s costing $15,000 we e shippe to a custome FOB shipping point on ecembe 25 an we e exclu e f om invento y.
④ Goo s costing $20,000 we e shippe to a custome FOB estination on ecembe 26 an we e exclu e f om invento y. The goo s we e eceive by the custome on Janua y 8

①については、１月６日にはじめてＴＡＣの invento y / accounts payable となるので、当期の決算にあたっての修正は不要。

②については、12月21日にＴＡＣの invento y / accounts payable となるので、invento y / accounts payable を$10,000追加計上する必要がある。

③については、12月25日において販売したことになるので、当期の invento y から除かれていて問題ない。なお、accounts eceivable / sales は12月25日に計上済である。

④については、12月26日に出荷しているが１月８日に相手方に到着しているので、当期の invento y に含めなければならない。しかし、本問では当期の invento y から除かれているので、$20,000だけ invento y を増やさなくてはならない。accounts eceivable / sales の計上も相手方に商品が到着する１月８日となる。

©TAC all ights ese ve

2. Inventories
Terminology

☐	1	Invento y	棚卸資産
☐	2	Me chan ise invento y	商品
☐	3	aw mate ials	原材料
☐	4	Wo k-in-p ocess	仕掛品
☐	5	Finishe goo s	製品、完成品
☐	6	O iginal cost	取得原価
☐	7	Histo ical cost	取得原価、歴史的原価
☐	8	Pu chase p ice	購入代価
☐	9	F eight-in	引取運賃
☐	10	F eight insu ance	引取に関する保険料
☐	11	Wa ehousing	保管費
☐	12	F eight-out	発送運賃
☐	13	Sales etu ns	売上戻り
☐	14	Sales allowances	売上値引
☐	15	Sales iscounts	売上割引
☐	16	Cont a account	評価勘定
☐	17	Pu chases etu n	仕入戻し
☐	18	Pu chases allowance	仕入値引
☐	19	Pu chases iscount	仕入割引
☐	20	Pe petual invento y system	継続記録法
☐	21	Pe io ic invento y system	棚卸計算法
☐	22	Physical (invento y) count	実地棚卸
☐	23	Specific i entification metho	個別法
☐	24	Ave age cost metho	平均法
☐	25	Weighte -ave age metho	総（加重）平均法
☐	26	Moving ave age metho	移動平均法
☐	27	Fi st-in, fi st-out (FIFO) metho	先入先出法
☐	28	Last-in, fi st-out (LIFO) metho	後入先出法
☐	29	Hol ing gain / loss	保有利得／保有損失
☐	30	Lowe of cost an net ealizable value (LCN V)	低価法

☐	31	Lowe of cost o ma ket (LCM)	低価法
☐	32	Histo ical cost basis	取得原価主義
☐	33	Ma ket value	時価
☐	34	Conse vatism	保守主義
☐	35	FOB shipping point	出荷地契約
☐	36	FOB estination	目的地契約